

令和2年4月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,390	30,390	30,400	30,469	△ 10	△ 79
2 調定水量	m <sup>3</sup>	618,746	618,746	617,900	626,701	846	△ 7,955
3 調定料金(税抜)	円	167,973,178	167,973,178	167,000,000	168,757,316	973,178	△ 784,138
4 口振加入件数	件	25,004	25,004	—	25,119	—	△ 115

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,352	18,352	18,320	17,995	32	357
6 調定水量	m <sup>3</sup>	377,536	377,536	370,500	371,790	7,036	5,746
7 調定料金(税抜)	円	59,959,546	59,959,546	58,817,000	58,932,087	1,142,546	1,027,459

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	77,444	—	78,818	△ 1,374
9 給水件数	件	30,065	—	30,425	△ 360
10 開栓処理件数	件	533	533	498	35
11 閉栓処理件数	件	235	235	245	△ 10
12 給水工事設計審査	件	100	100	75	25
13 給水工事竣工検査	件	101	101	76	25
14 経年メーター交換	件	207	207	627	△ 420
15 メーター口径変更	件	3	3	4	△ 1
16 月末停止件数	件	0	106	113	△ 7

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
17 排水設備工事確認申請	件	46	46	50	△ 4
18 排水設備工事完了検査	件	32	32	43	△ 11

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
19 当年度分	184,617,026円	0.08%	182,101,948円	0.09%
20 過年度分	15,851,078円	91.69%	18,244,313円	90.36%
21 計	200,468,104円	-	200,346,261円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
22 当年度分	65,950,785円	0.01%	63,637,396円	0.01%
23 過年度分	12,851,683円	83.12%	13,156,264円	81.89%
24 計	78,802,468円	-	76,793,660円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
25 当年度分	0円	-	0円	-
26 過年度分	3,268,600円	0.01%	4,068,330円	0.02%
27 計	3,268,600円	-	4,068,330円	-

8 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
入札件数	11	11	0	0	0	0	1	1	10	10	0	0
契約締結	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	8	8	0	0	0	0	0	8	8	0	0
	随契	3	3	0	0	0	0	1	2	2	0	0
	合計	11	11	0	0	0	0	1	10	10	0	0

《中止 当月 0件/累計 0件》《不調 当月 0件/累計 0件》《取消 当月 0件/累計 0件》《未契約 0件》

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業  
ア 収益的収支

当期の給水収益は184,770千円(税込)で、前月期に比べて8,772千円の増で、対前年同月比では2,513千円の増となり、営業収益は185,358千円、営業外収益は事務手数料4,895千円を含む6,280千円となりました。

当期の営業費用は職員給与や動力費など27,393千円、特別損失は6千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,276千円のみ執行となっています。

支出は、栗原市からの資産購入費30,898千円を含む33,636千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,308千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は65,955千円(税込)で、前月期に比べて2,950千円の増で、対前年同月比では2,309千円の増となっています。営業収益は65,956千円、営業外収益は他会計補助金500,000千円を含む501,438千円となりました。

当期の営業費用は職員給与や動力費など25,426千円、特別損失は退職給付引当金として146,833千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入はありませんでした。

支出は、職員給与費などを含む2,281千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 組織統合により上下水道部を設置

4月1日から水道事業に加え下水道事業にも地方公営企業法を適用し、経営状況の明確化を図るため、水道事業所と建設部下水道課を組織統合し、上下水道部を設置しました。

上下水道部は3課7係の47名体制となり、窓口の一本化による市民サービスの向上、災害時の危機管理体制の強化を図ります。更に、経営基盤の強化に向け、業務の一体化や類似業務の統合による経営コストの削減など効率的な組織運営を進めます。

(2) 石越駅前地区の給水区域変更について

4月1日(水)から石越町駅前地区で給水区域の変更を実施しました。

同地区は、栗原市からの給水区域となっていました。栗原市からの配水管で漏水が発生したことを契機に、安定的に水を供給するため給水区域の変更を行ったものです。

変更により113戸が給水区域に加わりました。安心していつでも安定した水の供給を行います。

(3) 新型コロナウイルス対策を実施

上下水道部では、新型コロナウイルス感染が懸念される中、生活に欠かせない水道水の安定的な供給と下水処理を確実に実施し持続するため、「新型インフルエンザ等対応指針(行動計画)」を策定し、職員に対する感染予防の啓発をするとともに、分散勤務の実施やカウンター前のアクリル板設置など、各種感染症対策に取り組み、リスク対策を行っています。

安全で安心な水道水を供給し、快適な生活環境を確保するため、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めます。

令和2年4月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	788,307	788,307	766,590	805,711	21,717	△ 17,404
総配水量	738,042	738,042	713,771	750,389	24,271	△ 12,347
1 有効水量	667,699	667,699	674,151	676,240	△ 6,452	△ 8,541
(1) 有収水量	623,158	623,158	626,161	631,392	△ 3,003	△ 8,234
(2) 無収水量	44,541	44,541	47,990	44,848	△ 3,449	△ 307
2 無効水量	70,343	70,343	39,620	74,149	30,723	△ 3,806
(1) 漏水量	70,328	70,328	39,000	74,535	31,328	△ 4,207
(2) その他無効水量	15	15	620	△ 386	△ 605	401
3 有収率	84.43%	84.43%	87.73%	84.14%	-3.29%	0.29%

※ 当月期の最大配水量は、30日（木）に記録した【25,964m<sup>3</sup>】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	6,160	0	0	0	0	6,160	0.0%
浄水施設整備事業	10	40,370	0	0	0	0	40,370	0.0%
配給水施設整備事業	60	1,165,720	0	0	0	33,636	1,132,084	2.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 石越浄水場沈殿池清掃作業実施

4月22日（水）石越浄水場において、登米市水道事業浄水施設等管理運営業務受託者（明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体）により、1系の水処理系統（着水井、薬品混和池、フロック形成池、傾斜板沈殿池）清掃を行いました。この作業は、各池に汚泥が過剰に堆積すると、薬品による凝集沈殿効果の阻害等浄水処理に影響を及ぼすことから定期的に清掃を行うものです。

作業中は取水を停止しましたが、保呂羽浄水場からの送水により石越地区へ水道水を供給し、断水することなく終了しました。



【沈殿池内汚泥掻き寄せ機清掃状況】

2 令和2年度の漏水調査について

令和2年度の漏水調査については、保呂羽水系の無効水量低減を最優先目標に、老朽管や事故履歴分析に基づく漏水多発管路を対象とした調査を中心に実施します。また、常に配水流量の変化を監視して異常があれば即座に調査対応を実施し、計画有収率88.0%を目指します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	1	0.600
	付属施設	0	0.000
	給水装置	1	0.012
	計	2	0.612

【4月の漏水調査結果】

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道	255,847	255,847	261,075	△ 5,228		1 処理場
特定環境保全公共下水道	55,415	55,415	50,356	5,059		3 処理場
米谷・錦織処理区	12,572	12,572	12,482	90		
豊里処理区	29,947	29,947	26,222	3,725		
津山処理区	12,896	12,896	11,652	1,244		
流域関連特定環境保全公共下水道	11,876	11,876	11,747	129		
農業集落排水	113,903	113,903	106,097	7,806		24 処理場
迫地区	8,756	8,756	8,559	197		
東和地区	3,137	3,137	2,679	458		
中田地区	31,117	31,117	28,865	2,252		
豊里地区	2,114	2,114	1,974	140		
米山地区	50,231	50,231	44,676	5,555		
南方地区	18,548	18,548	19,344	△ 796		
浄化槽（特地・個排）	36,450	36,450	33,792	2,658		1,805基

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	641,085	0	0	0	1,266	639,819	0.2%
処理施設整備事業	6	382,021	0	0	0	646	381,375	0.2%
浄化槽整備事業	80	124,382	0	0	0	369	124,013	0.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 浄化槽整備推進事業受付状況

令和2年度における浄化槽整備基数は80基を予定しています。令和2年4月期の受付状況については26件を受付しました。平成31年4月は21件となっており、前年同月より5件多くなっています。

※浄化槽整備事業は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市が設置主体となり、公共下水道事業及び農業集落排水事業の計画区域以外の地域に合併処理浄化槽の整備を推進しています。

○受付状況 (4月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	26	54

2 公共ます・管路情報等照会状況

令和2年4月期における公共ますや管路情報等の照会件数は80件でした。平成31年4月期の照会件数は55件であったことから約1.5倍の件数となっています。新型コロナウイルスに関連して緊急事態宣言の発令後は、照会件数が減少しており、現在では来庁以外にFAXやEメールでの照会にも対応しています。